太田駅南口（群馬県太田市）

ガス燈のある街

太田駅が大きく生まれ変わっています。近年失われつつあった中心市街地の賑わいを取り戻すため、駅周辺で再開発事業が進められ、南口では駅前広場の整備が完了。利用者の利便性を高め、駅南北の回遊性を意識した空間となりました。その駅前広場駅車場を取り囲むように、ガス燈が通り側に3基、駅舎側に2基立ち並びます。

撮影：川村興宗

河内長野ガス 河内長野市
地域に役立つ会社に
経営ビジョンにも市民の力

市や防災関連の学識者、ボランティア団体との勉強会を重ね仕様を決めた本社ビル

市や団体と協力して防災・まちづくり講座を開き、河内長野ガスは共も調和になった

河内長野ガスの本社ビルは、1階がショールーム料理教室等、常時に対応を考える市ボランティア団体に開放する。

ボランティア団体は、「防災ベンチ」や「マンホールトイレ」も利用できる。

北川雅夫社長は「市民の皆さんから、交流拠点に望まれる。地域貢献、保安活動日」と期待する。

「市民ベンチ」は、ガス会社と市が共同で作成した「地域防災マニュアル」に基づき、市民の皆さんが防災用品を備蓄する。

「マンホールトイレ」は、市が設置する。

山田能徳総務企画課長は「市民の皆さんと共に防災・まちづくりを考えるガス会社を目指したい」と強調する。

災害時に場所を提供

河内長野ガスの本社ビルは、1階がショールーム料理教室等、常時ボランティア団体に開放する。

北川雅夫社長は「市民の皆さんと共に防災・まちづくりを考えるガス会社を目指したい」と強調する。

年度内に経営ビジョン
学識者や市が委員会に参加

河内長野ガスは18日、市民の皆さんとコミュニティ活動を通じて、地域に役立つ会社を目指す。17年度に発表した「地域に役立つ会社」の実現に向けた経営ビジョンを、年度内に学識者や市が委員会に参加する形で作成する。

河内長野ガスは、地域の皆さんとの交流を通じて、地域に役立つ会社を目指す。

ボランティア団体の勉強会を開催するなど、市民の皆さんとの交流を通じて、地域に役立つ会社を目指す。

その過程で、地域の防災・まちづくりに関する市民の皆さんとの交流を通じて、地域に役立つ会社を目指す。

ボランティア団体の勉強会を開催するなど、市民の皆さんとの交流を通じて、地域に役立つ会社を目指す。

その過程で、地域の防災・まちづくりに関する市民の皆さんとの交流を通じて、地域に役立つ会社を目指す。

また、